



くらき永田保育園便り

平成27年9月1日

<http://www.kurakids.ed.jp/>

玄関ホールで涼しげに鳴いている鈴虫の声を聞いていると暑かった夏が遠い昔のように感じられます。プールや緑のカーテンが片付けられ、園庭には納涼会の舞台が設置され、保育園の環境もすっかり秋仕様です。

さて、今週は子どもたちも楽しみにしている納涼会&流しソーメンです。夏の終わりの人気行事、お祭り気分を味わいたと思います。そして、来月には秋最大のイベント運動会が行われます。子どもたちの4月からの成長を保護者の皆さんと実感できる機会になるよう準備を進めていきたいと思えます。今年はどうなドラマが待っているのか楽しみです。



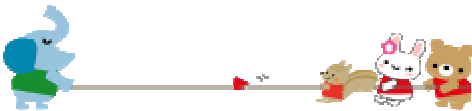
動物園を100倍楽しむ方法

子どもたちはいつの時代も動物が大好き。異年齢うみグループは今日もサファリごっこが盛り上がっています。そこで、アフリカのサバンナでの公認ガイドとして活躍中の加藤直邦さんのトークライブを今月8日に行います。野生の動物達の姿や現地で録音された生の声を聞ける貴重な体験となること間違いなし。家族で動物園に行った時などは今までと違った動物園に見えること間違いなしのイベントです。お時間の都合がつく方は観覧可能ですので、職員までお声掛けください。

大規模災害に備えての確認

3/11から早くも四年半が過ぎようとしています。震災直後は防災意識の高まりましたが、時間の経過とともに関心が薄れてきています。9月は保育園でも防災強化月間です。大規模災害時の確認を再度行います。

- ・ 電話がつながりにくい状態が想定されますので、園からの情報はNTT災害用伝言ダイヤル(171をダイヤルし利用ガイダンスに従って下さい)により情報を提供していきます。
- ・ 震度5以上の地震の際は安否にかかわらず至急お迎えをお願いします(交通機関が乱れる為)。
- ・ 大規模災害が実際に起こった際でも 保護者の方にお子さんを引き渡すまでは開園時間を超えても保育園で責任を持ってお預かりします。
- ・ 安心メールを登録している世帯には、随時、新しいニュースを発信します(未登録の方、アドレスを変更した方は、この機会に確認をお願いします)



啐啄同時(そったくどうじ)

7月に出版した「40のサインでわかる乳幼児の発達」を読んだ方から、「この本は啐啄同時が書かれていますね」という感想をいただきました。意味を解説してもらいと・・・生きている鳥の卵を外から力を加え破ってしまうと卵の命は絶えてしまいます。ですから、親鳥はヒナ鳥がコツコツと殻を内側からつつき外の世界へ出ようとするときに、外側からつつき殻を破くそうで、禅の世界ではそれを「啐啄同時」と呼ぶそうです。

くらき永田保育園の保育観も 子どもが主体となって自ら一歩踏み出す意思が大切で、その気持ちがないまま、大人が子どもにやらせても身につけません。子どもの興味関心が高まったその好機を逃さず保育士が働きかけることを大切にする。そんなスタンスを基本に毎日の保育に臨みたいと感じる言葉でした。

9月の予定		
1	火	ぽかぽか 10月分受付
2	水	
3	木	納涼会・流しソーメン
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	カラダの時間 動物園を100倍楽しむ方法
9	水	交通安全教室
10	木	
11	金	大吾先生の野遊び
12	土	布団乾燥
13	日	
14	月	永野鯉節店さん
15	火	
16	水	菜の花定期交流
17	木	運動会総練習①
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	国民の休日
23	水	秋分の日
24	木	久保先生わらべうた
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	火	運動会総練習②



☆係からのお知らせ☆

環境玩具係

今年もくらき永田保育園の職員による、グッドトイコンテストが開催されます！
職員一人ひとりが子どもたちの発達や楽しむ姿を想像しながら何度も改良を重ねて作りました！
9月3日～10日に玩具の展示を行い、今年も保護者のみなさまにも投票をしていただきたいと思いますので楽しみにしててください！
過去のコンテストの作品は保育の中で活用しています！！



絵本わらべうた係

絵本わらべうた係は、この夏、絵本について学ぶために2つの研修に参加しました。一つ目は福音館書店の河野さんによる園内研修です。毎日触れている絵本ですが、もう一度基本に立ち返って勉強させて頂きました。『子どもにとって絵本の役割とは？』『伝えていくうえで大切にしたい方がいいことは？』など、深いお話を聞くことができました。また有名な絵本のちょっとした仕掛けや意図を知り、絵本の見え方が変わる研修となりました。2つ目はサマーリフォームスタディです。絵本作家さんなど4人の講師の方にお話をいただきました。どちらの研修でも、絵本は子どもたちに楽しさを伝える大切な手段となること、大人はその楽しさを読み聞かせを通して伝え、共有することが大切だと再認識しました。絵本を讀んでるひとときは大人と子どもの気持ちを通い合う大切な時間です。保育園でも、生活の中に絵本があるという環境を整えていきたいと思ひます。また、7月にご家庭にお届けしたひとりひとりの絵本メッセージカードの返信も随時お待ちしております！ぜひお子さんと一緒に絵本の時間を過ごしてみてくださいね♪



☆今月は、クラスの『わらべうた』の様子をお伝えします☆

にこにこ組

にこにこ組では『じーじーばー』や『ちゅっちゅこっこ』のようなオーガンジーを手に持って振って遊ぶわらべうたが大好きです。一人の子が、保育士の歌に合わせてオーガンジーをもつ様子を見て、「私も、僕も」というように保育士の周りに来て、わらべうたを楽しんでいます。

最近では、保育士の仕草を真似する子が増えてきています。今では、「ちよちよちあわわ」が、大人気で保育士と嬉しそうに一緒に手を動かしたり、言葉が出てきている子どもは「あわわ」と一緒に歌うなど大人の声を真似して歌っています。時々、午睡の時間に眠りにつく前に布団に横になりながら仕草を真似しながら歌っている子もいます。

お家でも、お子さんが仕草をした時が、わらべうたをしたいサインだと思いますので、一緒に歌って楽しんでみてください。



よちよち組

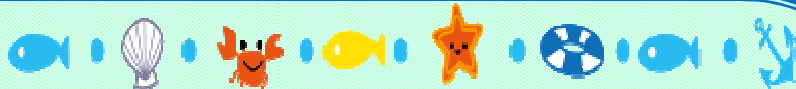
毎月1回、わらべうたの久保先生がお部屋に来ると・・・積極的に先生の周りに集まる子、少し離れたつつも段々と先生に近づく子、保育士と一緒に楽しむ子と様々ですが子どもたちはわらべうたが大好きです。普段のお部屋でも、保育士と一緒に『ふくすけさん』や『ニューメンソーメン』等のくすぐり遊びを楽しみ、繰り返し遊ぶ中でうたも覚えてきて、わらべうたを口ずさむ姿が見られます。

また、足や手を保育士に差し出し「やって～」の催促をし、保育士がわらべうたをしている側で友だち同士わらべうたをする姿も見られるようになりました。

最近では、自分の身体を動かして楽しむわらべうたがお気に入り、くまの人形で遊んでいた『くまさんくまさん』を自分の体で表現して楽しみ始めています。



すくすく組



久保先生や保育士に歌ってもらったわらべうたはすぐに覚え、遊びの中でも楽しんでます。『ちゅーりっぷしゃーりっぷ』では洗濯バサミやロンディーを繋げてチューリップに見立てて「〇〇ちゃん、はい、はい、ありがとう♪」と自分や友達の名前を入れて歌ったり、『にゅーめんそーめん』では友達や赤ちゃん人形のげんきくんやあいこちゃんの手を取りくすぐったり、手のひらを叩いたりしています。

すくすくになりダイナミックな動きも真似出来るようになり、『くまさんくまさん』では「くまさん、くまさん、まわれみぎ〜♪」「両手をついて♪」などと歌に合わせて動きを真似ています。



ぽかぽか広場



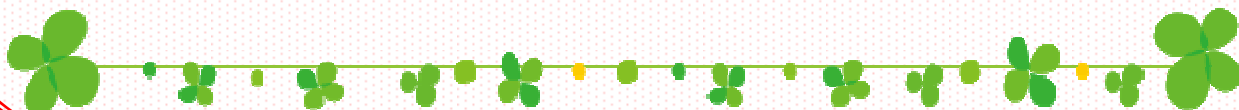
ぽかぽか広場のお友達も、紙芝居を読む前やホール遊びの時などにわらべうたを楽しんでいます。

わらべうたはいつも人気ではじまるとすぐに保育士の側に集まって笑顔で参加しています。

人気があるわらべうたはオーガンジーを使った『ちゅっちゅっこ』や皮膚刺激を楽しむ『いっぽんばしこちょこちょ』そしてお友達と一緒に楽しめる『おふねがぎっちらこ』などです。

子どもたちは初めて聞くわらべうたもすぐに覚えて仕草を繰り返したり、お友達や自分が振るオーガンジーを見て「たのしいね」と笑い合っています。

ぽかぽか広場でも楽しくて心地のよいわらべうたをたくさん取り入れて、子どもたちと一緒に楽しんでいきたいと思えます。



異年齢



のびのび

のびのび組のわらべうたは、久保先生に教えてもらった歌の中から、2つお気に入りの曲を紹介しします。

『キャーロノメダマ』は、雨の日になると「カエルの歌がやりたい！」とリクエストする子が多い一曲です。一人ひとりに折り紙のカエルを渡し、最後の「ペッポップ」に合わせて人差し指で弾いて飛ばします。最初はなかなか上手く飛ばなかったのですが、何度もやるうちに弾くのも上手になり、「カエルが飛んだ！」「ひっくり返った！」と、とても盛り上がります。

『ほたるこい』では円になって座り、赤い提灯を持って歌に合わせて提灯を上下に揺らして円の周りを歩きます。この時期はお祭りに行った子も多く「赤い提灯、お祭りの時にあったんだよ！」と話してくれる子もいて、身近な物を使ってわらべうたを楽しみました。以前は保育士の真似をしたり、二人組を作ってお互いにやってあげるといった歌が多かったのですが、最近ではクラス全員の友達と一緒に、円になって座って、自分の順番を待ち、交代をするという簡単なルールを守って遊ぶ歌も楽しめるようになってきました。



わくわく

わくわく組はわらべうたの中でも体を使って遊ぶわらべうたが大好きです！最近では『おくやまのおくの』というわらべ歌を繰り返して遊び、楽しんでいます。鬼役を一人決め、その子の周りを円になって歌を歌いながら回ります。最後のフレーズの「こそこそ…こそこそ…」を繰り返して歌い、鬼役の子が好きなタイミングで動いて友達を追いかけ、捕まえます。そして鬼役を交代して遊んでいくのですが、鬼役以外の子は「捕まるまい！」と必死で逃げ回っています。しかし、何度も遊んでいると鬼役もコツをつかんでくるようです。素早く友だちの腕の下をくぐって狙った友だちを捕まえたり、なかなか動く気配を出さなかったのに急に動きだしたり…遊び方も日々変化しています。

また、歌に合わせて隣りの人の手を叩いて遊ぶ『うみだよ かわだよ』もお気に入りです。最初は歌を歌いながらリズムに合わせるということが難しいようでしたが、繰り返して遊んでいるうちに綺麗な声で穏やかに歌えるようになってきています。毎月の久保先生のわらべうたを積極的に覚えて、わくわく組なりに楽しんでいます♪



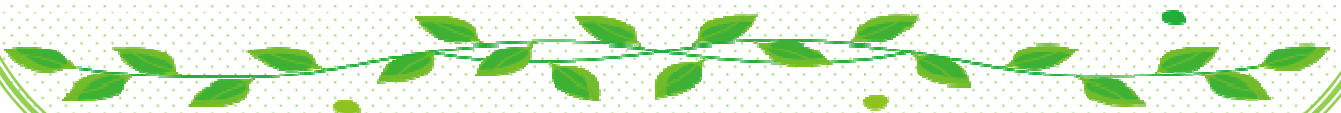
いきいき



いきいき組では『かごめかごめ』や『チンチロリン』など人当てや音源を当てるわらべうたをしました。『かごめかごめ』では真ん中の子どもは目を瞑って最後に「うしろのしょうめんだあ〜れ」と言った友達を当てていきます。大きな声で歌う子どももいれば、自分の声だとばれないように少し声を変えながら歌う子どももいて中の鬼役の子どもは「う〜ん…」と悩みながら「〇〇ちゃんかなあ」と当てようと楽しんでいます。

『チンチロリン』でも鈴の音が鳴る場所を当てようと耳を澄ませて、よく聞こうと集中しています。室内では音が響いて聞こえた方向と違う方に指を差すと「あれ、こっちから聞こえたのに？」と不思議そうな顔をしていました。

今後もこういった友達同士で遊べるようなわらべうたをたくさん遊んでいきたいと思います。



こんな時は病院へ!!

暑さも少しずつ和らぎ、過ごしやすい気候になってきました。夏休み中の出来事を話してくれる子どもたちの様子を見ると、一段と心身ともに成長していることを感じます。夏の疲れが出る時期でもあります。体調の変化に注意をし、無理をしないようにしましょう。

👉 やけどをした

→痛みがなくなるまで水道水で冷やします。やけどが広範囲(子どもの手のひらの大きさより大きい)の場合はすぐに救急車を。冷えピタなどは傷口に張り付くので、やけどの手当てには×

👉 頭をぶつけた

→声をかけ反応を見る。普通に受け答えが出来れば、ぶつけたところを冷やして24時間様子を見る。手足の動きがおかしい、吐き気がある、顔色が悪いなどが見られるときは病院へ。

👉 何かを飲み込んだ

→何をどのくらい飲み込んだかチェック。尖ったものを飲んだ、何を飲み込んだのかよく分からない、嘔吐が止まらない、痙攣している、意識がない場合などは病院へ。



給食室

先月 27 日に今年はテーマを「小麦」で行っているキッチンデーの第2回「スコーン」作りをしました！

まずはボウルの中に入った小麦粉、塩、BP、グラニュー糖をフォークでまぜまぜ♪粉と小さく切ったバターをよく混ぜたらヨーグルト、牛乳を加えてまた混ぜます。ボウルから生地を出して捏ねたらビニール袋に入れて、めん棒で平らに延ばしたら冷蔵庫の中で少しの間おやすみします。寝かした生地をいきいき組は自分の好きな型で抜いてオリジナルスコーンを作りました。

焼き上がったスコーンはいきいき組が作ったリュバークのジャムとのびのび組が摘んでくれたカモミールで作ったお茶と一緒に食べて、素敵なティータイムを過ごしました！！

